

「福祉文化セミナー in 奄美」

日本福祉文化学会 関西ブロック

会員 長尾玲子

奄美の文化と自然によく触れ、そして地元の方々との交流をいただいたセミナーでした。奄美の文化、生活についての研究を重ねられている富澤公子氏による企画であってこそと感謝いたします。

花井恒三氏による講演では、現代の奄美の社会、文化、経済について詳しく教えていただき、奄美では今も「結い」の精神が根強く息づいていることを知りました。

昔から農作業、清掃、冠婚葬祭、地域のまつりや行事、収穫物や制作品の売店の運営などが共同で行われる、労働は内容でも通貨でもなく時間の交換である、冠婚葬祭の会費の取り決めがあるなど、人々のつながりの強さが根底にあるから継続して行われ、これらの行いがさらにつながりを深めていることを感じました。

自分たちの生活は自分たちで守るという自立した姿勢から、「結い」の精神が大切にされ続け、それが生き活きと暮らされることにつながり、また奄美の文化が継承されていることを素晴らしいと思います。講演を拝聴し、世界一幸福度が高い国デンマークのユーザーデモクラシーが思い浮かびました。市民同士の話し合いに寄って、市民の声が反映された政策決定がなされるように法制化されたシステムですが、それに通じる実践が、日本のこの奄美で自然なかたちで引き継がれていると思いました。

奄美の方々の穏やかで温かいお人柄に触れ、心の豊かさはどこにあるか、それは自然を敬い、喜びや悲しみをみなで分かち合い、共に労働する共同体の中にあるのではないかと一つの解が得られたようです。

奄美大島の文化、生活についてもっと学び、再訪したいと思います。富澤氏が研究を重ねられていることに敬意を表し、今後もしもご教示いただくことを楽しみにしております。

「福祉文化セミナー in 奄美 に参加して」

非会員 長尾 昌隆

田中一村が好きで、いつかは訪れたかった奄美大島に福祉文化学会の現場セミナーで行く機会を得ました。

富澤公子先生が築かれた地元の方々との交遊の輪と、お嬢さん奈美さんの細やかなサポートで、個人ツアーでは、とても回る事ができない奄美の魅力に短期間で出会うことができました。

美しい海と森、人情、郷土料理、果物、祭り・・・、奄美の自然、文化、生活、歴史に触れる事ができ、お年寄りが元気な奄美に完全に魅了されました。

二地域居住のOターンも頭をかすめるほどです。(ハブの存在が阻みはしますが)

さて、都会の生活から見ると天国の様な島ですが、都会人は、この奄美から何を学ぶべきなのでしょう。

奄美の魅力は、素晴らしい自然に加えて、天の恵み一杯の地産地消の食材、結いの文化、老人が役割を持ち孤立せずに自立していることなどです。

元々、生い立ちの異なる人々が居住する都会において、同様の文化の再構築は難しいものの、同じ思いの人々が集まり、知恵を出し合うことで、新しい型の福祉文化を構築しなくてはならないとの思いを強くしました。